

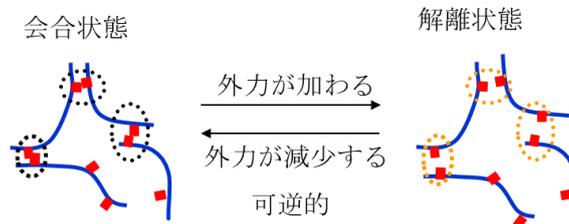
2017年3月1日

## 三井化学との水溶性ポリウレタンに関する 特許実施許諾契約締結について

日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「日本材料技研」）は、このたび、三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 淡輪 敏、以下「三井化学」）の保有する水溶性ポリウレタン（以下「本ポリマー」）に関する特許について特許実施許諾契約を締結しました。

対象となる本ポリマーは、主鎖は親水性でありながら分子中の一部が疎水性となっている独特の分子構造を有しています。本ポリマーを水や一部の有機溶剤に溶解した溶液は、疎水性部分が会合することによって高い粘性を示しますが、外力が加わると会合体が解離し粘度が減少するチキソトロピー性を示します。また、本ポリマーは非イオン系の材料であるため水溶液中に含まれる塩など各種イオンによる影響を受けにくく、高pH領域でも安定した増粘性を示すことにも特徴があります。

### <本ポリマーの機能発現イメージ>



本ポリマーは、無機材料に添加することによって粘度を制御できるため、電子材料・建築材料・塗料等の粘度調整剤としての利用が期待されます。

日本材料技研は、この契約で取得した特許実施許諾権を活用することにより、本ポリマーの事業化を図ってまいります。

日本材料技研は、素材分野に特化したファブレス型ベンチャーとして、国内企業や大学・研究機関等で開発された革新的技術について、ライセンスアウトやカーブアウトを通じた事業化に取り組んでいます。今後も、企業が保有する休眠技術の事業化を進めることで、日本の素材産業におけるイノベーション創出に貢献してまいります。

以上